

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名: 一般社団法人近江日野交流ネットワーク協議会

令和元年9月30日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(ソフト対策)	取組概要(ハード対策)
滋賀県 日野町	平成29年度	日野町の自然や歴史文化、農林業や日常の暮らし、「食」などを体験交流の手段として、①インバウンド受入環境の整備、②国内外からの誘客のための情報発信ツール整備、③日野町の農泊の取組の持続のための地域人材の育成、に取り組む。	—

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

<p>(評価コメント)</p> <p>インバウンド対応、情報発信ツール整備、日野町の子どもたちの健全育成などに向けて、インバウンド受入に向けたモニターツアー、多言語に特化したパンフレットの作成に取り組んだが、事業の一部について未実施(インバウンド受入農泊家庭の対応力強化における外国語会話教室の開催、日野町の子どもたちの日野町の農泊による育成におけるモニターツアーの開催が未実施)となり、また、事業実績も目標を大きく下回るなど、成果を上げていると認められない。</p> <p>(指導・助言等)</p> <p>訪日外国人や教育旅行の受入人数の増加や日野町内での子ども体験プログラムの実施などを達成するためには、8年間に渡り体験型教育旅行を受け入れてきた経験を活かして、教育旅行や訪日外国人の受入の早い時期からの調整や、日野町内の教育関係機関との更なる連携強化を図るなど、協議会の創意工夫による事業展開することにより、農泊事業を推進されたい。</p>

2. 低調と評価された要因

<p>(平成29年度評価:C)</p> <p>取組状況について、事業の一部が未実施(インバウンド受入農泊家庭の対応力強化における外国語会話教室の開催、日野町の子どもたちの日野町の農泊による育成におけるモニターツアーの開催)となった。</p> <p>事業実績について、受入体制の問題や台風でのキャンセルによる体験料収入の減少、インバウンドの体験民泊は旅館業法の許可が必要となったことによるインバウンド受入の減少及び町内関係機関との調整が進まなかったことによる日野町の子どもたちの農泊モニターツアーの未実施などが原因となり、目標を大きく下回った。</p>

3. 目標達成に向けた方策

- ・体験料収入については、交付金を活用して旅行会社への営業活動を実施し、情報発信の強化を図る。
- ・インバウンドの受入については、交付金を活用して旅館業法の許可を得ている協議会構成員を対象とするインバウンド対応のためのスキルアップ研修やパンフレット作成を行い、インバウンド対応の活動強化を図る。
- ・日野町の子どもの農泊については、平成29年度は町内関係機関との調整が進まず未実施となったため、早期に計画を固めて町内関係機関との調整を進め、確実な実施を図る。

4. 改善状況

- ・体験受入人数は、平成29年度は3,400人であったが、平成30年度は4,271人に増加した。
- ・インバウンドの受入は、平成30年度目標の400人に対し、402人(達成率:101%)となった。
- ・日野町の子どもの農泊は、町内関係機関と調整を積極的に進めた結果、実施に至り、平成30年度目標の40人に対し、56人(達成率:140%)となった。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名: 南山城村体験観光推進協議会

令和元年9月30日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(ソフト対策)	取組概要(ハード対策)
京都府 南丹市	平成29年度	農家民泊のノウハウを身につける村民を増やすことでホストファミリーを増大し、交流人口の増加を図るため、農業体験インストラクター養成講座の開催、特産品を活かした商品開発、体験観光拠点整備の基本設計及び先進地視察等に取り組む。	—

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

<p>(評価コメント)</p> <p>事業実施計画に沿って概ねの取組は実施されているが、事業実績は非常に低調なものとなり目標を大きく下回るなど、成果を上げていると認められない。</p> <p>(指導・助言等)</p> <p>協議会において問題点を会員に伝えて再共有し、計画と達成率のギャップを埋めて、事業目的を常に意識し業務運営を実施するとしていることから、関係団体との連携をさらに図り、試作段階のメニューを本格実施へ昇格させるなど、ビジネス化を意識した取組を実施することにより、農泊事業を推進されたい。</p>
--

2. 低調と評価された要因

<p>(平成29年度評価:C)</p> <p>事業実績について、台風による罹災等により取組が遅れ、農家民泊受入れ農家数、農家民泊体験者数及び売上(体験料、一次産品加工品)が、目標を大きく下回った。</p>
--

3. 目標達成に向けた方策

<ul style="list-style-type: none"> 農家民泊受入れ農家数については、研修会の開催だけでなく個別説明の実施等により、登録農家の増加を図る。 農家民泊体験者数については、近隣の町と教育旅行受入の一本化、旅行代理店への営業活動及び村を窓口とする体験希望者の直接受入等により体験者の増加を図るとともに、体験料については、価格の再検討を図る。 売上(体験料、一次産品加工品)については、町内の旧製茶工場を改修し体験・交流の拠点とするとともに、一次産品加工品の製造・販売を行うことで売上の増加を図る。
--

4. 改善状況

<ul style="list-style-type: none"> 農家民泊受入れ農家数については、平成30年度目標の30軒に対し、32軒(達成率:106%)となった。
--

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名: やまと観光推進協議会

令和元年9月30日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(ソフト対策)	取組概要(ハード対策)
奈良県 山添村	平成29年度	主要観光都市にはない、ゆっくりとした時間と少ない観光客、道案内や店内会話だけではない日本人との直のふれあいができる場所としての農泊の魅力を広く国内外に発信するため、受入体制の整備、体験メニューの開発、ホームページの広告、イベント開催、旅行会者等への営業活動、広報用写真撮影及び事業推進のための専門家受け入れ等に取り組む。	—

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

(評価コメント)

一部変更や未実施となった事業はあったものの事業実施計画に沿って概ねの取組は実施されているが、事業実績は非常に低調なものとなるなど、成果を上げていると認められない。

(指導・助言等)

計画作成段階での目標設定について何が問題であったのか再度検討し、農泊を実施するために必要な団体を構成員に加えることや内外への営業活動を引き続き実施し、地域への訪問客の増加やそれに伴う売上げの増加に結びつくように、農泊事業を推進されたい。

2. 低調と評価された要因

(平成29年度評価:C)

事業実績について、村内の空き家を利用して宿泊及び体験施設を整備する予定であったが、所有者との調整がつかなかったことから平成29年度中に整備・開業できず、売上げ(宿泊、体験)、宿泊者数、雇用及び体験者数の実績が全く計上できなかったため、目標を大きく下回った。

3. 目標達成に向けた方策

・宿泊及び体験施設については、早急に空き家所有者との調整を行い、平成30年度内中に整備を完了し早期の効果発現を図る。

4. 改善状況

・平成30年度中に、宿泊及び体験施設の整備を完了した。